令和５年度北海道高等学校ＣＢＡ学力テスト　設問・大項目別正答率

コード	00	管内	全道	全道集計
モデル	C	教科科目	数学Ⅰ	

問題番号 大問	問題番号 小問	通し番号	学習指導要領の内容 大項目	学習指導要領の内容 中項目	出題のねらい	評価の観点 知識・技能	評価の観点 思考・判断・表現	記述式	期待正答率(%)	設問別 全道 正答率(%)	設問別 全道 中間点得点者率(%)	設問別 全道 無解答率(%)
1	(1)	1	数と式	数と集合	簡単な無理数の四則計算ができる。	○			95	58.0		2.9
	(2)	2	数と式	数と集合	簡単な無理数の四則計算ができる。	○			95	45.2		3.1
	(3)	3	数と式	数と集合	簡単な無理数の四則計算ができる。	○			90	37.5		3.4
2		4	数と式	数と集合	集合と命題に関する基本的な概念を理解している。	○			90	28.3		6.8
3	(1)	5	数と式	式	二次の乗法公式の計算ができる。	○		○	95	59.3		7.6
	(2)	6	数と式	式	二次の乗法公式の計算ができる。	○		○	95	59.7		8.8
4		7	数と式	式	因数分解の公式を使った計算ができる。	○			85	73.1		3.2
5		8	数と式	式	不等式の解の意味や性質及び一次不等式の解法を理解している。	○			90	55.4		3.6
6	ア	9	数と式	式	集合の考えを用いた論理的な考察及び簡単な命題の証明ができる。		○		85	34.5		6.6
	イ	10	数と式	式	集合の考えを用いた論理的な考察及び簡単な命題の証明ができる。		○		85	35.0		7.3
	ウ	11	数と式	式	集合の考えを用いた論理的な考察及び簡単な命題の証明ができる。		○		85	52.6		7.1
	エ	12	数と式	式	集合の考えを用いた論理的な考察及び簡単な命題の証明ができる。		○		85	55.8		7.5
7	項	13	数と式	式	式を多面的に捉え、目的に応じて適切に変形できる。		○		80	21.9		5.7
	公式	14	数と式	式	式を多面的に捉え、目的に応じて適切に変形できる。		○		80	51.1		5.6
8	ア	15	数と式	式	連立一元一次不等式を解くことができる。		○	○	80	39.9		13.7
	イ	16	数と式	式	連立一元一次不等式を解くことができる。		○	○	80	33.4		18.4
9	(1)	17	数と式	式	日常や社会の事象における一次不等式を活用した問題解決ができる。		○		70	36.7		8.6
	(2)	18	数と式	式	日常や社会の事象における一次不等式を活用した問題解決ができる。		○	○	50	12.7		52.6
1	(1)	19	図形と計量	三角比	鋭角の三角比の意味を理解している。	○		○	80	62.7		15.8
	(2)	20	図形と計量	三角比	鋭角の三角比の意味を理解している。	○		○	80	61.7		16.6
	(3)	21	図形と計量	三角比	鋭角の三角比の意味を理解している。	○		○	80	64.3		16.0
2	(1)	22	図形と計量	三角比	鈍角の三角比の値を求めることができる。	○		○	70	8.5		33.3
	(2)	23	図形と計量	三角比	鈍角の三角比の値を求めることができる。	○		○	70	8.4		34.2
3		24	図形と計量	三角比	鈍角の三角比の意味を理解している。	○			60	24.7		13.9
4	(1)	25	図形と計量	三角比	正弦定理や余弦定理の意味を理解している。	○			70	29.3		13.1
	(2)	26	図形と計量	三角比	正弦定理や余弦定理の意味を理解している。	○			70	41.8		13.5
5		27	図形と計量	図形の計量	図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現することができる。		○		65	23.1		19.9
6		28	図形と計量	図形の計量	日常や社会の事象における三角比を活用した事象を考察することができる。		○	○	50	12.8		64.4
1	(1)ア	29	二次関数	二次関数とそのグラフ	二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。	○			80	35.8		5.0
	(1)イ	30	二次関数	二次関数とそのグラフ	二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。	○			80	34.6		5.2
	(2)	31	二次関数	二次関数とそのグラフ	二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。	○			80	42.5		6.7
2		32	二次関数	二次関数とそのグラフ	二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。	○			80	41.8		7.8
3	(1)最大	33	二次関数	二次関数の値の変化	二次関数の最大値や最小値を求めることができる。	○			75	49.7		8.1
	(1)最小	34	二次関数	二次関数の値の変化	二次関数の最大値や最小値を求めることができる。	○			75	38.5		8.3
	(2)最大	35	二次関数	二次関数の値の変化	二次関数の最大値や最小値を求めることができる。	○			65	37.7		8.6
	(2)最小	36	二次関数	二次関数の値の変化	二次関数の最大値や最小値を求めることができる。	○			65	19.4		8.9
4	ア	37	二次関数	二次関数の値の変化	二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係を理解している。	○		○	70	37.1		20.7
	イ	38	二次関数	二次関数の値の変化	二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係を理解している。	○		○	90	40.0		21.0
5	(1)	39	二次関数	二次関数の値の変化	二次関数のグラフを用いて二次不等式を解くことができる。	○			70	38.1		10.0
	(2)	40	二次関数	二次関数の値の変化	二次関数のグラフを用いて二次不等式を解くことができる。	○			70	29.9		10.4
6	(1)	41	二次関数	二次関数の値の変化	二つの数量の関係に着目し、日常や社会の事象の課題解決ができる。		○	○	50	12.9		64.4
	(2)	42	二次関数	二次関数の値の変化	二つの数量の関係に着目し、日常や社会の事象の課題解決ができる。		○	○	60	12.0		52.0
7		43	二次関数	二次関数の値の変化	二次関数の式とグラフの関係についての多面的な考察ができる。		○		60	25.2		21.9
1		44	データの分析	データの散らばり、データの相関	散布図及び相関係数の意味を理解している。	○			80	32.8		31.9
2	ア	45	データの分析	データの散らばり、データの相関	基本的な統計量を求めることができる。	○		○	80	52.3		34.4
	イ	46	データの分析	データの散らばり、データの相関	基本的な統計量を求めることができる。	○		○	80	15.0		45.4
	ウ	47	データの分析	データの散らばり、データの相関	基本的な統計量を求めることができる。	○		○	80	11.0		44.5
3	ア	48	データの分析	データの散らばり、データの相関	データの散らばり具合や傾向を数値化する方法の考察ができる。		○		75	45.5		30.2
	イ	49	データの分析	データの散らばり、データの相関	データの散らばり具合や傾向を数値化する方法の考察ができる。		○		75	53.3		30.4
	ウ	50	データの分析	データの散らばり、データの相関	データの散らばり具合や傾向を数値化する方法の考察ができる。		○		75	29.8		30.7
	エ	51	データの分析	データの散らばり、データの相関	データの散らばり具合や傾向を数値化する方法の考察ができる。		○		75	31.7		31.5
4		52	データの分析	データの散らばり、データの相関	目的に応じた複数のデータを分析したり、傾向を把握することができる。		○		65	38.5		33.7
5	(1)	53	データの分析	仮説検定の考え方	具体的な事象における仮説検定の考え方を理解している。	○			80	3.0		76.1
	(2)	54	データの分析	仮説検定の考え方	主張の妥当性について判断及び批判的に考察することができる。		○	○	50	1.0		85.7

全体 全道	観点別	全道		領域別	全道 正答率(%)	中間点得点者率(%)	無解答率(%)
37.4	知識・技能	41.0	12.9	数と式	43.9		9.6
	思考・判断・表現	31.6	24.8	図形と計量	33.8		24.1
				二次関数	33.1		17.2
				データの分析	28.6		43.0